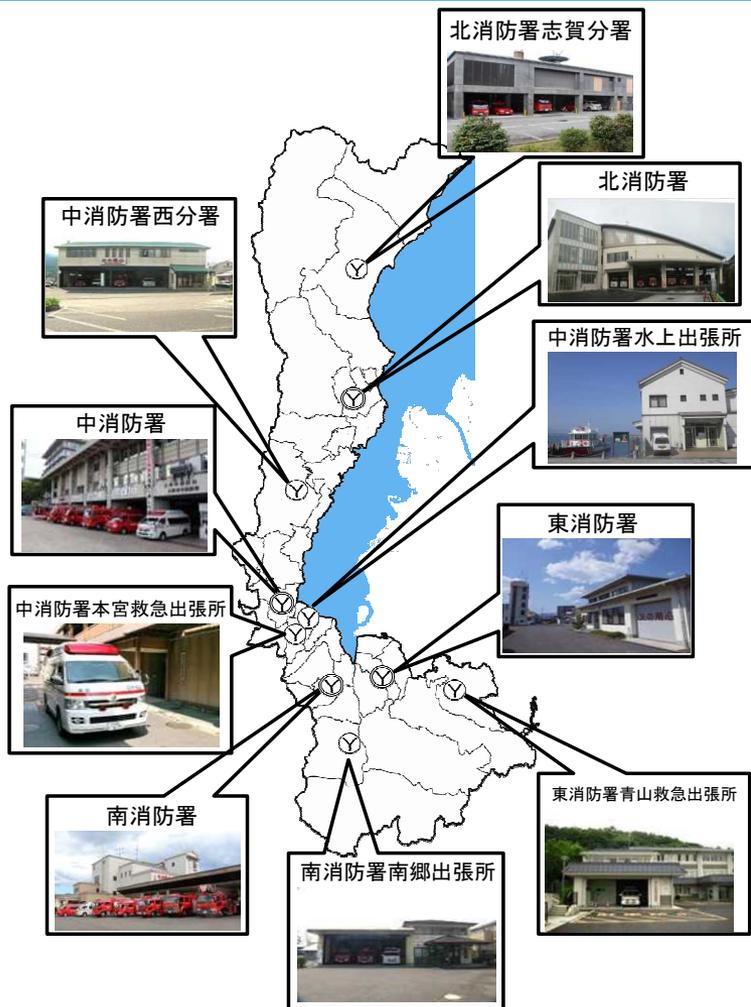


中消防署施設整備について

令和4年6月22日
消 防 局

消防署所の配置



[令和4年6月1日現在]

名称	建築年月	管轄学区	配備職員
志賀分署	H 1 1. 1 2	小松～小野	1 9
北消防署	H 2 8. 2	葛川～ 仰木の里東	4 7
西分署	H 4. 4	雄琴～唐崎	1 9
中消防署	S 4 6. 4	滋賀～平野	6 8
南消防署	H 7. 3	膳所～大石	6 5
東消防署	S 6 0. 1 2	田上～瀬田北	4 1

現中消防署について



【主な配備車両】

はしご付消防ポンプ自動車	災害支援車	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	救助工作車	高規格救急自動車
					

移転場所・建物規模

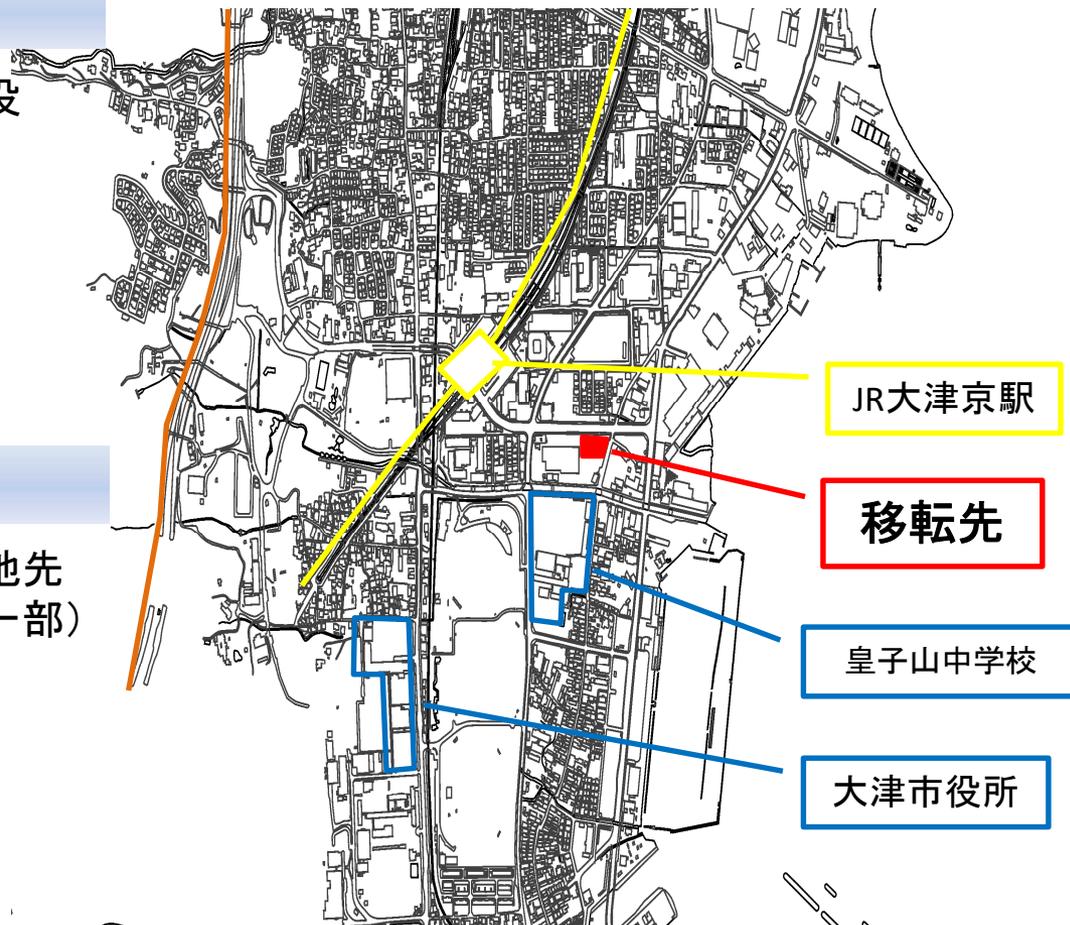
移転整備の目的

中消防署は、昭和46年4月建築の市役所別館に併設しており、築50年以上が経過、老朽化も顕著で必要な耐震化が図られていません。

移転整備は、災害に強いまちづくりを推進し、市民を守る新たな防災・災害対応拠点として強化を図るものです。

移転場所・建物規模

- (1) 移転場所：大津市皇子が丘三丁目地先
(琵琶湖競艇場駐車場の一部)
- (2) 敷地面積：2,601.86㎡
- (3) 建築面積：約1,168㎡
- (4) 延床面積：約2,668㎡
- (5) 階数：地上2階一部3階
(約15m)
- (6) 構造：RC造（耐震構造）



基本方針のコンセプト

新庁舎整備時基本方針コンセプト

①

大規模災害対応
周辺環境に配慮した設計

②

市民防災力向上
自主防災活動機能強化

③

庁舎を有効活用した訓練施設

④

浸水対策を考慮した設計



大規模災害対応・環境配慮

大規模災害対応

- (1) 無給油72時間稼働の非常用自家発電設備
- (2) 非常用汚水槽(マンホールトイレ)
- (3) 職員全員召集時の仮眠スペース確保
- (4) 防災倉庫、水防倉庫設置
- (5) 大規模災害時など市緊急対応スペースの確保



環境配慮

- (1) 太陽光パネル設置
- (2) LED照明、高断熱等省エネルギー設計
- (3) 高効率空調等ランニングコスト低減設計
- (4) 屋上遮音壁設置
- (5) 小出力スピーカ設置



市民防災力向上

市民防災力向上

- (1)救命講習、防火講習等実施可能な施設
- (2)初期消火訓練施設
- (3)水害対策訓練施設



庁舎を有効活用した訓練施設

訓練施設

- (1) 屋内訓練室
- (2) 庁舎屋上有効活用
- (3) 市民初期消火訓練にも活用できる火災訓練施設
- (4) 庁舎を活用した傾斜地訓練施設

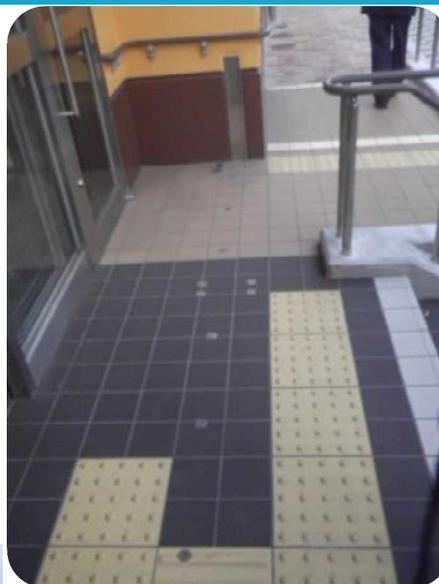
中心市街地消防署として
屋外階段、バルコニー、屋上を有効活用して、立体的訓練機能を有した庁舎仕様



浸水対策

浸水対策ハード整備

- (1)フロアレベルを浸水想定深以上に設定
- (2)1階コンセント高さ1m以上
- (3)緊急時1階諸室前へ止水板設置
- (4)受水槽、非常用電源設備の屋上設置



浸水対策ソフト整備

- (1)浸水時業務継続計画(BCP)作成
- (2)BCPに基づく定期的な訓練実施



職員執務環境整備

職員執務環境

- (1) 最短出勤導線の確保
- (2) 防火衣等乾燥室の設置
- (3) 複数シャワー個室の設置
- (4) 感染症予防対策として仮眠室の個室化、自動水洗等の設置

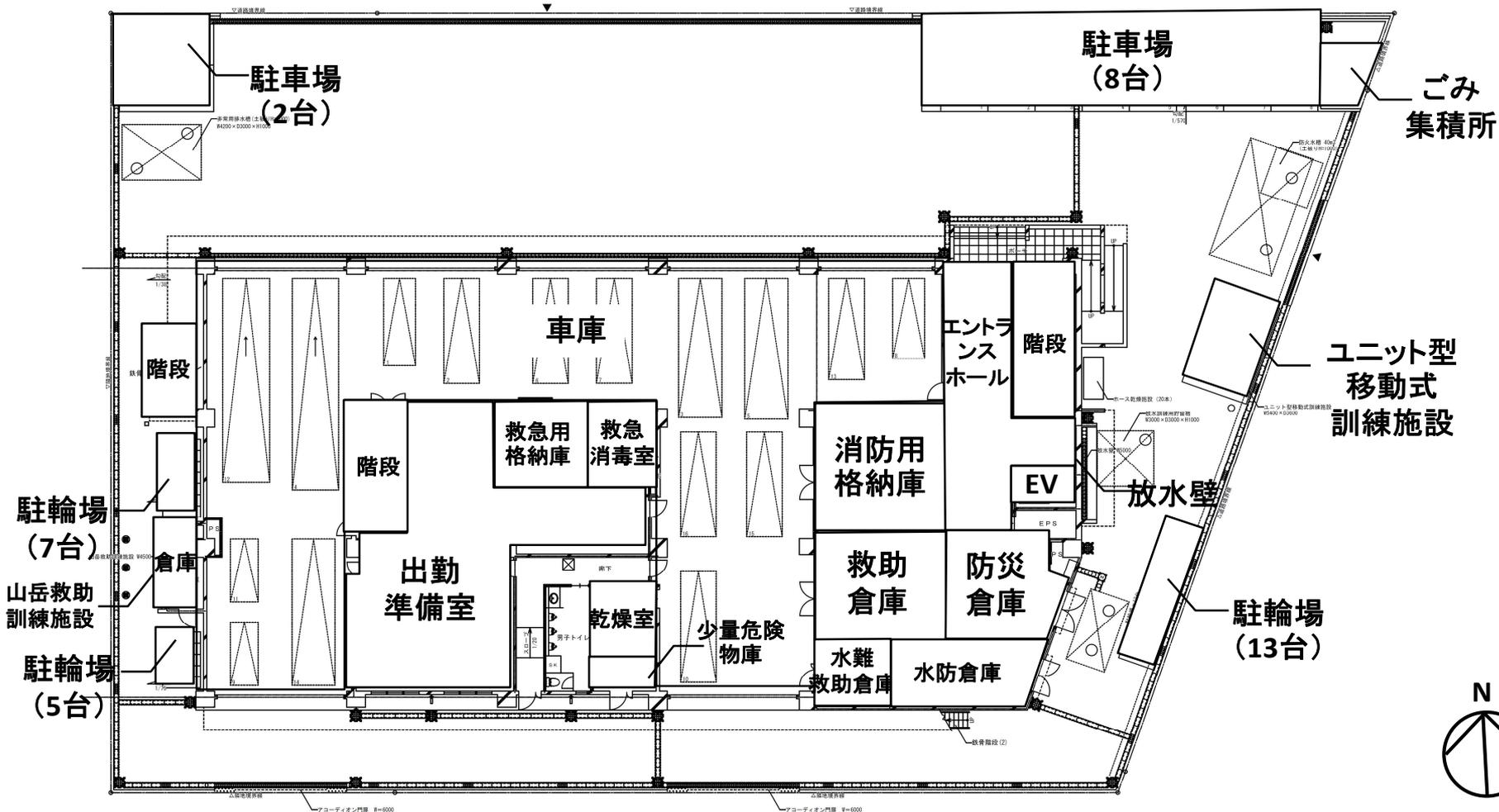


女性職員執務環境

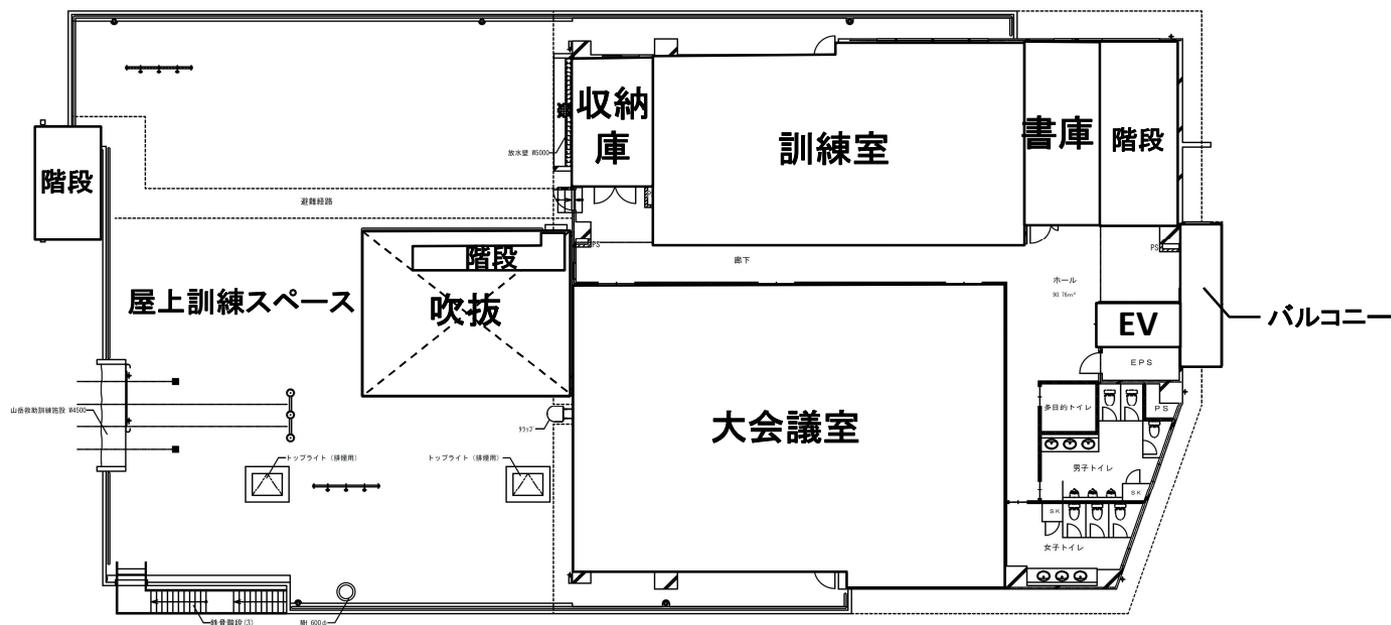
- (1) 女性専用仮眠室、浴室、洗面室設置
- (2) 電子キー等によるセキュリティー



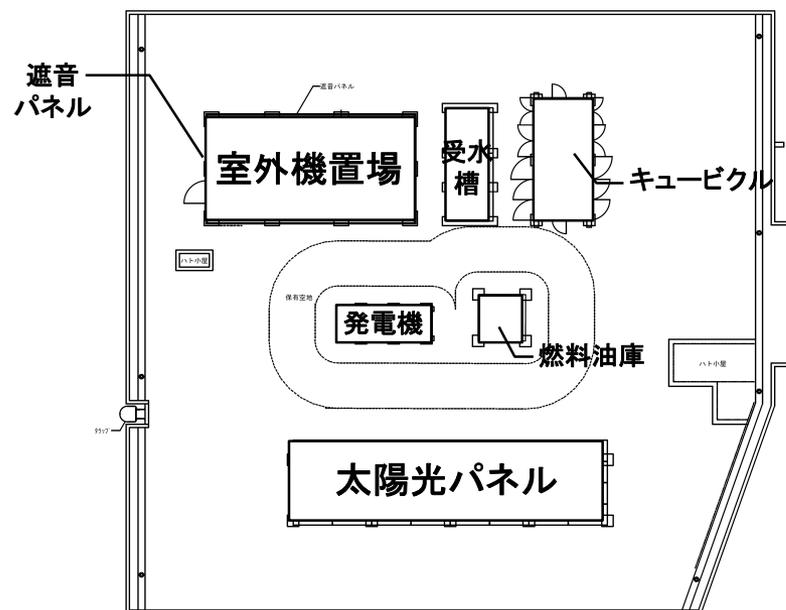
1階平面図



3階平面図



3階屋上平面図



新中消防署完成予想図 I



新中消防署完成予想図Ⅱ



スケジュール

年 度	主な内容
R 2	土地境界確定業務 地元説明会 中消防署庁舎整備基本方針策定
R 3	基本・実施設計、地元説明会 不動産鑑定評価、不動産評価委員会 地質調査設計、進入口整備設計、用地取得
R 4	実施設計、計画通知（確認済証） 地元説明会、付帯工事 建設工事入札、契約締結（予定）
R 5	建設工事他
R 6	建設工事他、竣工予定